

まちのできごと・マンスリーでお知らせします。

5/23 東小学校 田植え体験授業  
苗に込めたメッセージ



毎年、田植えの時期になると、東小学校では児童による田植え体験授業が行われます。「泥にはまったら、足を左右に動かして。植えるときは、できるだけゆっくり動いて」東小6年生の片桐 颯希さんが最初に田植えを体験したのは、1年生だった5年前。泥だらけになるからと、当時は田んぼに入るのを躊躇していたという颯希さん。あの子の自分と同じ1年生の長島 碧馬さんに、自らの経験を踏まえたアドバイスを送ります。颯希さんにとっては、これが最後の田植え。「振り返ると大切な思い出」と語る先輩の背中、後輩たちにとってのよいお手本となったことでしょう。

5/17 5/18 5/19 花と笑顔でいっぱい  
花と緑のフェスタ



花と緑に親しむ活動として、ちとせ環境と緑の財団が主催する《花と緑のフェスタ》が5月17日から19日までの3日間、グリーンベルトで開催されました。開催期間中には9,772人の来場者があり、メモリアルツリーの贈呈式（出生・入学・自宅購入・還暦などの慶事を迎えられた方へ贈呈）やキッズダンスチームによるチアダンス、千歳 JAZZ 倶楽部の演奏などを楽しみました。メモリアルツリーの贈呈式では、松本淳一理事長から「人生の節目となった記念のツリーをご自宅でご育てることで、ご家庭の幸せがいつまでも続くことを願っています」とメッセージが送られました。

5/6 こどもの日 防災フェスタ  
親子で防災を学ぼう



防災の知識を体験形式で学ぶ《防災フェスタ》を開催しました。会場のそなえには、各種の体験コーナーが設けられ、親子など多くの来場者でにぎわいました。工作コーナーでは、子どもたちが災害時のおやつ入れとなる《おやつポシェット》製作を体験。このほか、物干し竿と毛布を使った応急担架づくりなど、災害時に役に立つ知識を紹介しました。全部のコーナーを体験した参加者には、景品の防災ライトが贈られました。井上 琴葉さん（末広小1年）は、お父さんと一緒に憧れのはしご消防車に乗り笑顔。「おやつポシェットが上手に作れてうれしかった」と振り返りました。

5/11 日本航空高等学校北海道ゴルフ部  
部員6人でスタート



4月に開校した日本航空高等学校北海道が、道内に数校しかないゴルフ部を創部しました。同校ゴルフ部は1年生と2年生の部員6人で始動し、2年生担任の菊地 洸先生が顧問を務め、市内のゴルフ場を拠点に練習を重ねています。5月11日には、クラブなど用具の寄贈式を開催。日本高校ゴルフ連盟を通じ、(株)ゴルフパートナーから寄贈を受けました。初代部長に就任した2年生の松田 悠花さんは、昨年まで能登空港キャンパスのゴルフ部に所属。「卒業までに、能登にいたときよりも良い成績を残したい。部長として部員をまとめて、みんなが楽しめる部活にしたい」と抱負を話しました。

5/13 国際親善空手道選手権大会  
市川 竜也 選手が銅メダル！



空手の国際大会《国際親善空手道選手権大会》で、市川 竜也 選手が銅メダルを獲得し、表敬のため市役所を訪れました。同大会は4月に東京体育館で開催され、ロシアやイランなど世界各国から強豪選手が参加。市川選手は35～39歳 -70kg 組手の部に出場し、3位に入賞しました。国際空手道連盟極真会館 千歳道場に所属し、指導員を務めている市川選手は、子どもたちに「戦う姿勢を見せたい」との思いから日々、鍛錬を積んでいます。後輩へのメッセージとして、「普段、厳しい稽古をしている子どもたちには『試合に出る』ことを目標にして欲しい。試合に出たいと思わない子も、何か一つでも目標を持って稽古に臨んで欲しい」と話しました。

**人のうごき**

《総人口》  
97,815人 (-21)  
男性 49,697人 (-42)  
女性 48,118人 (+21)  
《世帯》52,633世帯 (+30)

( )内は、前月との比較です。

6-1 現在

**千歳村の飛行場拡張工事**

昭和9 陸軍飛行隊設置連成会を組織。第1期拡張工事。45,000坪の新飛行場整備が完了。

昭和10 1 村有地と民有地を交換し、約400,000坪の飛行場用地を確保。

4 第2期拡張工事に着手。

6 約100,000坪に拡張完了。

昭和11 5 第3期拡張工事に着手。172,000坪に拡張。

6 北海道最大の飛行場面積に。

10 陸軍特別大演習が行われる。

**百年物語**  
ちとせ空港  
手づくりの着陸場から新千歳空港へ  
開港100年の歴史を振り返る

Vol.14

**陸軍飛行場を求めて**

三度にわたる拡張  
陸軍飛行場誘致へと舵を切った千歳村は、昭和9年9月、飛行場の拡張工事に取り組みました（第1期拡張工事）。昭和10年3月、この年

の秋に航空演習を予定していた陸軍航空本部の青木喬が千歳村を訪れ、飛行場を視察していきました。千歳村はこれを誘致のチャンスととらえ、再び拡張工事をいたしました（第2期拡張工事）。翌年、陸軍特別大演習が北海道で行われるというところを知った千歳村は、さらなる拡張に着手（第3期拡張工事）。この陸軍大演習では千歳村に統監部が置かれ、千歳飛行場は連絡飛行場として使用されるなど重要な役割を果たしましたが、最終的に陸軍が飛行場設置を決めたのは、千歳ではなく帯広でした。

民間飛行場（札幌）、陸軍飛行場（帯広）と立て続けに誘致合戦に敗れた千歳村でしたが、まだ望みがありました。陸軍だけでなく海軍も、同じく北海道に航空基地を建設しよう、適地を探していたのです。

**広報ちとせからのお知らせ**

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課 広報係  
☎(24)0104 FAX(22)8851